

空気作動式バルブ

注意：エア・アクチュエーターの作動は、バルブのバックン・ナット調節の影響を受けます。したがって、バルブのバックン・ナットを過度に締め付けないうち注意しながら、十分なバックン・ナットのトルク値を維持して漏れを防止してください。バルブのバックン・ナットを過度に締め付けると、アクチュエーターが動かなくなるおそれがあります。

警告：システムに取り付けたバルブのメンテナンスを行う場合には、必ず事前に以下の作業を行ってください。



- システム圧力の開放（システムの圧抜き）
- バルブの開閉

警告：バルブやシステム内に残留物が見られる場合があります。

注意：適切なバックンへの荷重を得るため、バックン・ナットの調節が必要となる場合があります。バックンへの荷重が低すぎると、バックンから漏れが生じるおそれがあります。また、バックンへの荷重が高すぎると、アクチュエーターが動かなくなるおそれがあります。低圧時にバックンへの荷重が十分であっても、高圧時には不十分な場合があります。

ノーマル・クローズ型アクチュエーターの場合、アクチュエーター・ステム・ドライブ・ナットの調節が、アクチュエーターのスプリング力に影響を与えます。また、この影響により、以下の圧力にも変化が生じます。

- バルブの締め切りが可能な最大許容システム圧力
- バルブを開く際に必要なアクチュエーター最小作動圧力

ノーマル・オープン型アクチュエーターの場合、バルブが開き始める際にステム・オリフィスが開く度合いは、システム圧力、流量特性、バルブのバックン・ナット調節により異なります。

詳細につきましては、製品カタログ『Swagelok 過酷条件用ユニオン・ボンネット型ニードル・バルブ N シリーズ／HN シリーズ』（MS-01-168J4）をご参照ください。

Swagelok

www.swagelok.co.jp

その他の言語の取り扱い説明書もご用意しています。詳細につきましては、スウェーデン指定販売会社までお問い合わせください。

この日本語版取り扱い説明書は、英語版取り扱い説明書の内容を忠実に反映することを目的に、製作いたしました。日本語版の内容に英語版との相違が生じないように、細心の注意を払っておりますが、万が一相違が生じた場合には、英語版の内容が優先されますので、ご注意ください。

Swagelok — TM Swagelok Company
©1986, 1990, 1991, 1998, 2000, 2004
Swagelok Company

MS-INS-90-AO-EJ
CP Revision F
April, 2004
G09P